



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 石川製作所
 コード番号 6208 URL <http://www.ishiss.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 企画管理部門長
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 小長谷 育教
 (氏名) 森近 慶一

TEL 076-277-1411

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	2,515	△19.3	△122	—	△127	—	△136	—
28年3月期第2四半期	3,116	△11.6	△161	—	△173	—	△170	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △135百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △142百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△21.34	—
28年3月期第2四半期	△26.71	—

(注) 平成28年10月1日を効力発生日として10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	8,992	2,335	26.0
28年3月期	7,128	2,470	34.7

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 2,335百万円 28年3月期 2,470百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,900	1.7	125	41.1	85	14.6	60	0.0	9.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成28年10月1日を効力発生日として10株を1株とする株式併合を実施したため、当連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	6,385,972 株	28年3月期	6,385,972 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	6,392 株	28年3月期	6,392 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	6,379,579 株	28年3月期2Q	6,379,790 株
----------	-------------	----------	-------------

(注)平成28年10月1日を効力発生日として10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項については、添付資料の2ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が見られ、緩やかな回復基調が続いておりますが、英国のEU離脱問題など海外情勢の影響により円高が急速に進行するなど、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の下で、当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は28億83百万円(前年同期比30.7%増)となり、売上高は25億15百万円(前年同期比19.3%減)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

紙工機械

受注高は13億72百万円(前年同期比45.6%増)、売上高は10億60百万円(前年同期比24.6%増)となりました。

受託生産

受注高は10億14百万円(前年同期比26.3%増)、売上高は9億9百万円(前年同期比27.3%増)となりました。

防衛機器

受注高は1億91百万円(前年同期比17.0%減)、売上高は3億円(前年同期比77.9%減)となりました。

その他

受注高は3億5百万円(前年同期比33.0%増)、売上高は2億43百万円(前年同期比29.4%増)となりました。

損益面におきましては、前年同期に比べ売上高が減少したものの、原価率が改善したことなどにより、営業損失は1億22百万円(前年同期は営業損失1億61百万円)、経常損失は1億27百万円(前年同期は経常損失1億73百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億36百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億70百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(イ)資産

流動資産は前連結会計年度末に比べ19億46百万円(43.7%)増加し、63億97百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が71百万円減少したものの、当連結会計年度の売上引当のためにたな卸資産が19億16百万円増加したことによります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ82百万円(3.1%)減少し、25億95百万円となりました。これは主に減価償却費の計上等により有形固定資産が47百万円減少したことによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ18億63百万円(26.1%)増加し、89億92百万円となりました。

(ロ)負債

流動負債は前連結会計年度末に比べ17億70百万円(50.6%)増加し、52億68百万円となりました。これは主に短期借入金が増加した16億35百万円増加したことによります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ2億28百万円(19.7%)増加し、13億89百万円となりました。これは主に長期借入金が増加した2億37百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ19億98百万円(42.9%)増加し、66億57百万円となりました。

(ハ)純資産

純資産合計は前連結会計年度末に比べ1億35百万円(5.5%)減少し、23億35百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失1億36百万円の計上によります。

また、当社は、平成28年8月1日付で資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分による欠損填補を行いました。この結果、純資産合計に変動はありませんが、資本金が3,041百万円、資本剰余金が3,611百万円それぞれ減少し、利益剰余金が6,653百万円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月9日に公表した連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第2四半期連結累計期間
(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ26千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	348	355
受取手形及び売掛金	1,883	1,812
たな卸資産	2,136	4,052
その他	82	177
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	4,450	6,397
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	842	828
その他(純額)	989	956
有形固定資産合計	1,832	1,784
無形固定資産	42	35
投資その他の資産		
投資有価証券	662	664
その他	147	117
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	803	775
固定資産合計	2,678	2,595
資産合計	7,128	8,992
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,195	2,411
短期借入金	823	2,459
1年内返済予定の長期借入金	60	90
賞与引当金	32	31
環境対策引当金	3	3
その他	383	272
流動負債合計	3,497	5,268
固定負債		
長期借入金	500	737
退職給付に係る負債	519	532
その他	141	118
固定負債合計	1,160	1,389
負債合計	4,658	6,657
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,041	2,000
資本剰余金	3,648	36
利益剰余金	△6,329	188
自己株式	△7	△7
株主資本合計	2,353	2,216
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	117	118
その他の包括利益累計額合計	117	118
純資産合計	2,470	2,335
負債純資産合計	7,128	8,992

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	3,116	2,515
売上原価	2,835	2,231
売上総利益	280	283
販売費及び一般管理費	441	406
営業損失(△)	△161	△122
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	8	9
その他	2	3
営業外収益合計	11	13
営業外費用		
支払利息	17	11
その他	7	6
営業外費用合計	24	18
経常損失(△)	△173	△127
特別利益		
投資有価証券売却益	11	—
補助金収入	9	—
特別利益合計	21	—
特別損失		
固定資産処分損	4	1
貸倒引当金繰入額	—	0
特別損失合計	4	1
税金等調整前四半期純損失(△)	△156	△129
法人税、住民税及び事業税	16	18
法人税等調整額	△3	△11
法人税等合計	13	6
四半期純損失(△)	△170	△136
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△170	△136

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純損失(△)	△170	△136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27	0
その他の包括利益合計	27	0
四半期包括利益	△142	△135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△142	△135
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△156	△129
減価償却費	84	95
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	20	△1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	16	13
受取利息及び受取配当金	△9	△9
支払利息	17	11
投資有価証券売却損益(△は益)	△11	—
固定資産処分損益(△は益)	4	1
売上債権の増減額(△は増加)	△164	7
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,030	△1,916
仕入債務の増減額(△は減少)	615	263
未収消費税等の増減額(△は増加)	△106	△168
その他	25	43
小計	△696	△1,787
利息及び配当金の受取額	9	9
利息の支払額	△16	△13
法人税等の支払額	△18	△13
営業活動によるキャッシュ・フロー	△723	△1,804
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△126	△71
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	21	—
貸付金の回収による収入	1	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104	△68
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	286	1,635
長期借入れによる収入	600	300
長期借入金の返済による支出	△99	△32
リース債務の返済による支出	△20	△23
自己株式の取得による支出	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	766	1,879
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△60	6
現金及び現金同等物の期首残高	333	348
現金及び現金同等物の四半期末残高	272	355

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年6月22日開催の定時株主総会の決議により、平成28年8月1日付で会社法第447条第1項及び第448条第1項の規定に基づく資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに会社法第452条の規定に基づく剰余金の処分を行い、欠損填補を行いました。

この結果、資本金が3,041百万円、資本準備金が3,648百万円、利益準備金が744百万円、別途積立金が830百万円減少し、その他資本剰余金が36百万円、繰越利益剰余金が8,228百万円増加しております。